

ように感じた。

②図、表については講演者は、それなりに工夫したと考えているものの聴く側で見ると見えなかつたりして理解できないものが多い。(これは国内の講演大会でも同じである)発表者はポイントをしばつて理解しやすい図、表を作ることに努力してほしい。

③講演者の多くは原稿を読んでいるだけのものが多い。

④論文集はもつと早く聴講する側の手に入るようにし

たい。

⑤今回は初日の朝の受付がかなり混雑しておりもう少しゆとりがあれば良かったのではないかと感じた。以上は今後日本で国際会議を開催する際に改善していくべき点と思われる。

最後に、会場の設定、会議の進め方、工場見学等、多くの場面で配慮がされており、国際性を強く印象づけられた。

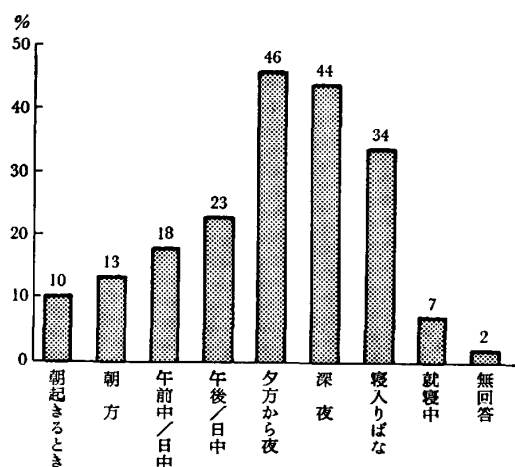
コ ラ ム

あなたも夜型か、発想パターン

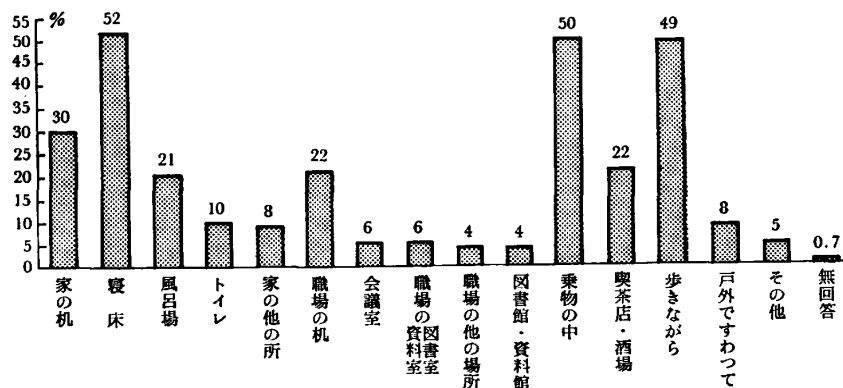
現在は創造力を問われる時代、磨き上げられた我が国鉄鋼業を救う道は、一步先んずる技術や新製品の開発にある。そこで巷にあふれる創造力開発に関する書物類とは別に、現実の大衆としては、どんなパターンで発想が生まれるのか、そこを追求してみるのも面白いと思う。

最近(1984年10月)、創造開発研究所がまとめた「現代人の発想パターン調査」によれば、アイデアの

●アイデア誕生の瞬間



●アイデアが生まれることの多い場所



生まれる場所、瞬間、状態についての結果は図表のようになる。どうやら日本人の発想パターンは“夜型”で、退社後寝入るまでの“一人になつて黙としている時”のようです。これはことばを変えれば、一心に集中している時とも言えましょう。このように考えると静坐とか、坐禅とかはまさに創造力を培う絶好の方法と言えます。“夜、静かに端坐する”，これは発想の面ばかりでなく、生きとし生きる道を考える上にも素晴らしいことかもしれません。

(住友金属工業(株)鹿島製鉄所 姉崎正治)

●アイデア誕生の状態(%)

